

事業実施報告

開催日	オリエンテーション合宿 令和3年 9月22日(水) 地方ステージ 令和3年12月26日(日)	開催時間	オリエンテーション合宿 13:00～16:00 地方ステージ 9:00～16:00
事業名	全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」		
開催場所	・オリエンテーション合宿 岩手県立葛巻高等学校 ・地方ステージ(オンライン開催) 国立岩手山青少年交流の家	参加人数	・オリエンテーション合宿 葛巻高校19名 ・地方ステージ 葛巻高校16名、雫石高校1名
参加学校名等	岩手県立葛巻高等学校、岩手県立雫石高等学校		
関係機関名	岩手県教育委員会		

状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

〔事業の内容〕

全国高校生体験活動顕彰制度を実施するにあたって、国立青少年教育振興機構が作成した「運営に関するガイドライン」及び「事業実施の手引き」に則り、オリエンテーション合宿の実施、地方及び全国ステージへの高校生の派遣を行うこととした。

なお、実践活動や報告書の作成にあたっては、連携する高等学校等の全面的な協力を得ることとした。国立岩手山青少年交流の家は、全国高校生体験活動顕彰制度に参加した高校生が、地域の課題を解決するアクションを作成し、その実践をもとに日本や世界の課題を解決するアクションを考え、実践することができるような思考力、判断力、表現力の育成を図った。

今年度のオリエンテーション合宿は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期と実施内容の変更を余儀なくされ、高校での1日開催で実施した。

オリエンテーション合宿では、「ガイダンス」と「実践活動のためのガイダンス」を行った。カリキュラムの実施については、高校の担当教諭から「総合的な探究の時間」での実施内容と成果の報告を受けて読み替えることとした。また、地方ステージ出場に際しては、高校との連絡調整、発表に向けた事前指導やリハーサルを実施し、プレゼンテーションを通して高校生の学びが深まるように支援を行った。

〔成果〕

事業終了後の振り返りでは、「1年間を通してたくさんの関係者と触れ合う中で新しい発見と魅力の再認識ができた。」「このプログラムに参加して、仮説を立てること、考えること、答えのない問題に取り組むこと、仲間と協力すること、自分たちが楽しんで行うことの大切さを学んだ。」「コロナの影響でこれからも制限された中での活動が多いと思うが、何ができるか考えてこれからも活動していきたい。」など、探究活動を通して地域の価値を見つめ直すとともに、今後もさらに学びを深めたいという感想が聞かれた。

地方ステージの振り返りにおいても、「自分にとって素晴らしい体験となった。次も参加したい。」「他県の活動は初めて聞くことが多くて楽しかった。」「他の学校や地域の発表を見ることがなかったので勉強になる部分が多かった。質問を受けて気付けることが多くあった。」など、他県の高中生からのフィードバックによって、アクションの軌道修正や動機付けにつながったという感想が聞かれた。

1年生から2年生にかけて系統性を持ち探究活動に取り組んでいたため、1学年で取り組んだ活動もカリキュラムに含めて読み替えることができた。このことによって実践活動の時間確保や11月末の報告書提出に余裕を持って取り組むことができた。

地方ステージの実施にあたり、ニュースリリースを行い探究活動に取り組む高校生を社会が評価し機運が高まるように取り組んだ。

〔課題〕

・青少年教育施設での合宿の必要性について

年間計画に基づいて総合的な探究の時間に取り組んでいる高校にとって、合宿の必要性は感じていない。今後は青少年教育施設での合宿のあり方について、高校側の要望に合わせながら方法や内容を検討していく必要がある。

・オリエンテーション合宿のカリキュラム内容について

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オリエンテーション合宿を計画通りに行うことができなかった。そのため、「フィールドワーク①」はオリエンテーション合宿前に高校周辺地域で行うこととなり、オリエンテーション合宿で実施できるカリキュラムが限定される状況となった。オリエンテーション合宿のカリキュラム内容については、これまで高校で取り組んできた学習の流れに沿ったものとなるように高校側と調整しながら進めていく必要がある。



ガイダンスの様子



グループでの話し合い



個人部門の発表



グループ部門の発表